

## にいがた新世代ヘルスケア情報基盤を活用した研究・事業

①研究課題名	新潟県内の循環器疾患患者を対象としたレセプトデータを用いた大規模予後調査（前向き研究）
②研究責任者	新潟大学大学院医歯学総合研究科 循環器内科学分野 主任教授 猪俣 孝元
②対象者	新潟県と協定を締結した国民健康保険及び後期高齢者医療制度の被保険者のうち、研究期間内に研究機関の循環器内科に入院し、かつ研究協力に関する同意の得られた者（予定登録症例数：約 8,500 例）
③概要	<p>研究期間に対象となる医療機関の循環器内科に入院した者について、本人の同意を得たうえでベースライン調査を実施するとともに、健診・保険請求データと突合した新たなデータベースを構築し、医療及び介護の費用・内容・期間・予後などを多方面から解析することで、循環器疾患を有する多くの患者の詳細な健康状態を把握し、より適切な医療介護介入の方策を検討する一助とすることを目指す。</p> <p>※研究実施医療機関 新潟大学医歯学総合病院、新潟県立新発田病院、新潟市民病院、新潟医療センター、済生会新潟病院、信楽園病院、木戸病院、新潟南病院、済生会新潟県央基幹病院、立川総合病院、長岡中央総合病院、長岡赤十字病院、柏崎総合医療センター、魚沼基幹病院、新潟県立中央病院、佐渡総合病院</p>
④申請番号	25-001
⑤研究の目的・意義	心疾患の原因究明と本態解明、環境要因と体質及びその交互作用、傷病特性をも考慮した予防や治療についてのエビデンスを創出し、あわせて、予後調査におけるデータベースを活用し、要介護区分の悪化を予測するシステムの開発・検証を、新潟大学メディカル AI センター/バイオインフォマティクス分野と協力し実施する。
⑥研究期間	にいがた新世代ヘルスケア情報基盤データ活用審査会承認後～2057年3月31日
⑦情報の利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	<p>主要評価項目 介護レセプトに含まれる要介護区分の悪化速度とそれに関わる因子の抽出</p> <p>副次評価項目 ・医療・介護レセプト、特定検診データの各レコードの記述統計、変化量、変化率 m ・医療・介護レセプト、特定検診データの各レコードの統計値、変化量、変化率などに準じてグルーピングした際の各変数の比較、アウトカム（要介護区分、傷病の発生/再発、死亡等）への影響の検討を行う。</p>

	<p>なお、解析時は個人情報を含まないデータセットを作成の上実施し、研究の結果を公表する際も、研究対象者を特定する情報は含めない。</p> <p>なお、研究の成果は大学のホームページ、ならびにシンポジウム、学会等において公表します。</p>
⑧利用または提供する情報の項目	<p>1. 研究者が自ら用意し、利用する情報</p> <p>①研修実施医療機関内の検査データ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報：生年月日、氏名、住所、被保険者番号</li> <li>・血液検査：ヘモグロビン、クレアチニン、BNP もしくは NTproBNP</li> <li>・心エコー検査：左室収縮率（LVEF）</li> <li>・DPC レセプト様式1のデータ</li> <li>・症候性心不全の有無（フラミンガムうっ血性心不全診断基準に該当するか否か）</li> </ul> <p>2. にいがた新世代ヘルスケア情報基盤から提供を受け、利用する情報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■病院データ：LVEF、BNP、Hb、Cr、DPC 様式1(NVHA、Barthel index など)</li> <li>■医療レセプト：年齢、性別、傷病名、請求コード、ICD10、入院/外来、手術処置名、実施日、薬剤・医療材料、在院日数、歯科治療など</li> <li>■介護レセプト：年齢、性別、サービス提供月、保険者番号、請求事業所の情報、居宅介護サービス計画、開始年月日、中止年月日、請求額など</li> <li>■検診データ：血圧、脈拍数、血液データなど</li> <li>■被保険者台帳データ</li> </ul> <p>※2については、同意取得から向こう20年間</p>
同意の撤回について	一旦、同意した者から、同意撤回の申し出があった場合を含む対応方法について（オプトインの撤回）
⑨利用の範囲	新潟大学大学院医歯学総合研究科
⑩お問い合わせ先	<p>新潟大学大学院医歯学総合研究科 循環器内科学 特任助教 藤木 伸也</p> <p>TEL：025-227-2185</p> <p>E-mail：sfujiki@med.niigata-u.ac.jp</p>